

# 歌川広重展

- 東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界 -

UTAGAWA HIROSHIGE -Fifty-three Stations of the Tōkaidō and Sessyūtsuka Lyrical world-

## ジュニア ガイド



うきよえ え  
浮世絵ってどんな絵のことなのかな？  
にほん ぶんか べんきょう  
日本の文化を勉強しよう！

### 作品を見るときのちゅうい

- ★ <sup>さくひん</sup>作品はさわったり、ゆびをさしたりしないでね  
すこしはなれてじっくり見てみよう
- ★ <sup>はし</sup>走ったり、<sup>おお</sup>大きな声で<sup>こえ</sup>おはなしはやめよう  
<sup>ちい</sup>小さな声でしゃべろうね
- ★ <sup>か</sup>書くときはえんぴつ<sup>つか</sup>を使おう  
<sup>も</sup>持っていないときは、<sup>かかり</sup>係の<sup>ひと</sup>人にきいてね
- ★ <sup>き</sup>けいたいや<sup>み</sup>ゲーム機を見ながら<sup>ある</sup>歩くのはやめよう

なまえ：

## うきよえ 浮世絵ってなに？

<sup>えどじだい</sup>江戸時代に<sup>いっばん</sup>うまれた、一般のひとにもなじみのある絵のことです。  
<sup>とうじ</sup>当時の<sup>いみ</sup>意味で、「<sup>うきよ</sup>浮世」とは「<sup>いま</sup>今のはやり」をあらわします。

<sup>うきよえ</sup>浮世絵は2種類<sup>しゅるい</sup>にわけることができます。



### うきよえ か 浮世絵に描かれたもの

- <sup>びじんが</sup>美人画…<sup>まちむすめ</sup>町娘や<sup>りゅうこう</sup>流行の<sup>き</sup>きものを<sup>おんな</sup>着た女の人たち  
いまでいうと → 流行のファッション誌
- <sup>やくしゃえ</sup>役者絵…<sup>かぶきはいゆう</sup>歌舞伎俳優  
いまでいうと → アイドルの写真
- <sup>めいしょえ</sup>名所絵…<sup>にほんかくしよ</sup>日本各地の<sup>めいしょ</sup>名所  
いまでいうと → ガイドブック

# うきよえ 浮世絵はチームプレイ？

うきよえ え か ひと えし もくはん え ほ ひと ほりし  
 浮世絵は絵を描く人（絵師）、木版に絵を彫る人（彫師）、  
 紙に絵をする人（摺師）にわかれて作品をつくりました。  
 このように役割分担して仕事をするを分業制といいます。

ぶんぎょうせい はや しごと  
 分業制により、むだなく早く仕事ができる！  
 もくはんが はんぎ なんど おな す  
 木版画だから、版木さえあれば何度でも同じものが刷れる！



やす つく  
 安く作ることができ、  
 いっぱん か  
 一般のひとでも買うことができる

コストパフォーマンス  
 とても高い！

浮世絵1枚買うのに、  
 当時のかけそば1杯の  
 値段で買ったんだって



うたがわひろしげ えどじだい こうき やく ねんまえ かつやく  
 歌川広重は江戸時代の後期（約200年前）に活躍した  
 うきよえし え か  
 浮世絵師で、いろんなジャンルの絵を描きましたが、  
 ふうけいが さくひん いちばんゆうめい  
 風景画の作品が一番有名です。

ふうけいが どうかいどうごじゅうさんつぎ ひろしげ だいひょうさく  
 風景画の《東海道五拾三次》シリーズは広重の代表作です。  
 てんじしつ じっさい み  
 展示室で実際に見てみましょう。

# とうかいどうごじゅうさんつぎ りょうこうきぶん 東海道五拾三次で旅行気分

とうかいどう えど どうきょう きょうと むす  
 東海道とは江戸（いまの東京）から京都までを結んでいた  
 みち えどじだい ひと みち い き  
 道のことで、江戸時代にはたくさんの人がその道を行き来  
 しました。いまでも東海道新幹線など、ことばのなごりが  
 とうかいどうしんかんせん  
 あります。国道1号線は東海道のことで、  
 こくどう こうせん どうかいどう  
 道の途中には53の宿場（宿泊施設や茶屋などが立ち並ぶ街）  
 ひろしげ しゆくば しゆくばくしせつ ちゃや た なら まち  
 があり、ひろしげはそれぞれの宿場と出発地・江戸、そして  
 しゅうちやくち きょうと めいしよ え 江  
 終着地・京都の名所あわせて55か所の絵を描きました。

えどじだいらこうき いっぱん あいだ いせじんぐう みえけん  
 江戸時代後期には、一般のひとの間で伊勢神宮（三重県）  
 はや どうかいどう りょうこうぎやく  
 へのおまいりが流行り、東海道は旅行客でにぎわいました。  
 いま でんしゃ くるま  
 むかしは今みたいに電車や車がなかったので、ほとんどの  
 ひと ある いどう  
 人が歩いて移動しました。  
 えど きょうと ある やく にち  
 江戸から京都までは歩いて約15日かかったそうです。

しがけん どうかいどう しゆくば  
 滋賀県にも東海道の宿場が5つあるので、  
 さくひん  
 作品をさがしてみましよう。

とうじ ひと りょうこう い  
 また、当時の人は、旅行に行けない  
 うきよえ み  
 かわりに浮世絵を見てバーチャル  
 りょうこう たの  
 旅行を楽しみました。  
 し ふうけい いま  
 知っている風景が今もあるかな？  
 さが  
 探してみましよう。

日本一おおきな  
 山はみんな知って  
 いるかな？

描かれている作品  
 をさがしてみよう

